

かながわ支え愛プラン（第5期神奈川区地域福祉保健計画）素案に対する

区民意見募集の実施結果について

かながわ支え愛プラン（第5期神奈川区地域福祉保健計画）の策定にあたり、区民の皆様に素案に対するご意見を募集しました。この度、実施結果と計画への反映などの考え方をまとめましたので、御報告いたします。

I 実施概要

(1) 実施期間

令和7年8月1日（金）から9月1日（月）まで

(2) 周知方法

- ア 素案冊子の配布：区役所（福祉保健課）、区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザ等
- イ かながわ支え愛プラン策定・推進会議の委員や活動団体等への情報提供
- ウ タウンニュースへの掲載
- エ 神奈川区ホームページへの掲載
- オ 広報よこはまへの掲載

2 実施結果

(1) 意見総件数：20件（提出者人数：8人）

(2) 提出された意見への区としての考え方 ※詳細は、別紙を参照してください。

合計 20 件

項目		意見数
1	計画に反映するもの	8
2	意見の趣旨が計画（素案）に含まれているもの	5
3	計画（素案）にご賛同いただいたもの	3
4	計画の推進の参考とさせていただくもの	3
5	感想	1

【別 紙】

◆ 主なご意見と対応

I 計画に反映するもの

	ご意見	ご意見に対する対応
1	「多文化共生」の語彙説明や、多文化共生ラウンジの場所を示したり、実際に交流している様子や日本語教室、学習支援をしている場などを紹介したり、どこに行けば外国人の方と対話ができるのかなどがわかると、より理解が深まると思った。	基本目標3-②に記載させていただいた通り、地域の方に多文化共生についての理解を深めていただくことは、誰もが健やかに安心して暮らすことのできるまちづくりにおいて、重要なことだと捉えています。「多文化共生」についての用語解説への記載や、日本語教室などの事例を掲載いたします。 (用語解説)
2	素案P12の穏やかな見守りの具体例に「ふれあい活動」の文言が有るが用語解説欄にない。記載してほしい。	日常生活の中で気になる方を見守る活動である「ふれあい活動」について広く周知するため、用語解説などへ記載いたします。 (用語解説)
3	素案P27の身近な場での話し合いの具体例の地域ケア会議、協議体に正確な用語説明がない。地域包括ケアシステムの重要な部分として用語解説欄に記載してほしい。	住み慣れた場所で安心して高齢期を過ごすことができる仕組みは、地域福祉保健計画にも通じる大切なことです。地域福祉保健計画と連動する計画の趣旨について、用語解説などへ記載いたします。 (用語解説)
4	地域包括ケアシステムの説明(図)の記載がない。シニアクラブの友愛活動として活動員に周知してもらっているが、活動の梯子を外された様に感じる。	「梯子を外されたように感じる」とのお気持ちを抱かせてしまったこと、お詫び申し上げます。住み慣れた場所で安心して高齢期を過ごすことができる仕組みは、地域福祉保健計画にも通じる大切なことです。地域福祉保健計画と連動する計画の趣旨について、用語解説などへ記載いたします。 (用語解説)
5	P46の用語説明欄50「口」老人クラブについて、「シ」シニアクラブへ記載変更してほしい。	名称変更に対応しておらず、申し訳ありませんでした。用語解説では「シニアクラブ」として記載をさせていただきます。
6	「通いの場」及び「つながりサポートター」の説明に関しても何らかの形で記載してほしい。	「通いの場」や「つながりサポートー」について、シニアクラブの用語解説にて記載いたします。 (用語解説)
7	複合事業の場合、役割や分担が自分達の他に誰(団体等)が関係しているかを明確化してほしい。(ふれあい訪問事業は民生委員、シニアクラブ、保活など、規定されたものは明記してほしい)	「ふれあい訪問事業」は、平成29年度より「ふれあい活動」という名称に変更し、個別訪問や地域活動等での見守り等を地域に応じた方法で続けられている活動であることを用語解説に記載いたします。 (用語解説)

8	<p>「かながわ支え愛プラン」(冊子)は、計画対応期間の地域福祉の「バイブル」です。従って不特定多数の人を見て貰うのではなく、むしろ各地区的町会長、民生委員、保活、地区社協、区シニアクラブ会長などに配布し、福祉に関する区の考え方、又質問などに対応できる様な工夫が欲しい。</p> <p>例を挙げれば「区内の取組事例」などには、問い合わせ先など記載し、参考に聞ける様にするなど。(文章全体を読めば概ね検討はつくが、協働で取組を行った団体を記名したほうが分かりやすい。自分の地域でもやってみようと思った時の問い合わせ先として利用できる。)</p>	<p>誰もが住み慣れた地域で、健やかに安心して暮らせるまちづくりを、地域が一体となって行うことができるよう、かながわ支え愛プランについて、各地区の町会長、民生委員・児童委員、保健活動推進員、地区社会福祉協議会、区シニアクラブ会の方をはじめ、地域の方々に広くご理解いただけないように引き続き努めてまいります。</p> <p>また、地域福祉保健活動の参考にしていただけるように、事例紹介を盛り込みながら本計画の説明を行いたいと思います。なお、裏表紙の「問合せ」に「かながわ支え愛プランの内容に関する問合せ先」という文言を追加することを検討させていただきます。</p>
---	---	---

2 意見の趣旨が計画（素案）に含まれているもの

意見の内容	ご意見に対する対応
1 神奈川区に住む人が、区内に住む外国人の方の現状や、何に困っているかを知る場や機会が地域にあると良いと思った。	<p>外国人の方がどのようなかかわりを希望しているか知っていただききっかけとなるよう、計画冊子に「令和6年度外国人の意識調査（横浜市）」（抜粋）を掲載しております。 (素案 P4)</p> <p>外国人の方が暮らしやすい地域づくりに向けて、多文化共生ラウンジの活動周知などを進め、ラウンジをご利用の方と、地域で活動を行っている方がつながりあうよう、区社会福祉協議会や地域ケアプラザ、地域の活動団体等と協働して取組を検討してまいります。 (素案 P27)</p>
2 外国人の方は支援をされることを望んでいる人ばかりではなく、長く住んでいる人の中には「地域で役に立ちたい」「同じ国の人を助けたい」と考えている人もおり、そのような人たちの活躍の場が地域に広がると、地域コミュニティの活性化にもつながるのではないかと思った。	<p>基本目標Ⅰ-②に記載させていただいた通り、多文化共生ラウンジなどの関係機関と連携し、外国人の方が担い手として地域福祉に参画することができるような取組を進めてまいります。 (基本目標Ⅰ-②)</p>
3 地域に住んでいる子どもたちに、地域に愛着をもってもらえるような機	<p>地域の商店街や企業と連携させていただく中で、子どもたちが地域に愛着や親しみを持てるような体験機会の</p>

	会が大切だと思った。 そのような機会として、地域の商店街や企業で職場体験などを積極的に受け入れることができたらよいと思う。	創出を検討してまいります。また、地域全体で子どもたちの成長を支える環境づくりを進めてまいります。 (基本目標 3-②)
4	「地域」と言われても何を指しているのかわかりにくい。つながりを持ちたいと思っても、何処から誰に、何を相談してよいのかがわかりにくい。スポット的に参加ができるような行事や役割などから地域とつながればよいのにと思う。	地域の方が活動に参加したい、自分の得意を活かしたいと思ったときに活動できる場を設け、ライフスタイルに応じて参加しやすい環境を整えられるよう、区社会福祉協議会や地域ケアプラザ、地域の活動団体等と取り組んで参ります。 (基本目標 2-①)
5	高齢で耳が不自由な人は、在宅生活・施設入所にかかわらず社会から孤立することが多い。今まで自分で自由に外出できていたが、高齢になりそれが難しくなったことや、近くに手話で話す人がいないことが理由である。 手話通訳のニーズを訴えるまでではないが、手話で話をする人がいれば、今の生活状況を理解して、生活に張りを持つことができる。 高齢で耳が不自由な人の話を聞くことができるような企画をしてほしい。	誰もが孤立せず安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。世代や抱える悩みなどの違いをこえた交流の場だけでなく、引き続き、同世代の方や同じ悩みを抱える方同士が交流できる場の創出に努めるとともに、既存の活動について広く知っていただくための発信を継続してまいります。 (基本目標 1-②)

3 計画（素案）にご賛同いただいたもの

ご意見の内容		ご意見に対する対応
1	神奈川区の特徴に合わせた計画となっていると思う	ご賛同ありがとうございます。データ分析や区民のみなさまのお声をもとに、神奈川区の特徴に応じた計画となるよう、検討を重ねています。
2	人と人のつながりは、安心な暮らしのためにとても大事だと思う。 また、昨今の事件から見ても顔見知りが多い町では犯罪者の侵入に気付きやすかったり、 災害時の助け合いなど安全な暮らしにもつながってくると思う。	ご賛同いただきありがとうございます。計画の基本理念である「誰もが住み慣れた地域で、健やかに、安心して暮らせるまちをみんなでつくろう」を軸に、地域で人と人とのつながりや助け合いの風土がさらに広がるような取組を進めて参ります。
3	基本目標 2-1に関して、大いに賛成ですし、具体的な取り組みを進めていただきたい。	ご賛同いただきありがとうございます。広く多くの方にご賛同、参画いただけるように、基本目標 2-①を計画的に進めます。

4 計画の推進の参考とさせていただくもの

ご意見の内容		ご意見に対する対応
1 神奈川区全体に伝わるように考えてほしい。		神奈川区にかかるみなさまに計画を身近なものとして捉えていただき、誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくりが進むよう、より一層、多様な年齢層の方に向けた周知啓発に取り組んで参ります。
2 自分の自治会で、様々な地域活動を担ってくださっている方々の年齢が上がっていて、心配な気持ちになる。みんなが自分ごととして、安心できる街を作っていくこうという理念にはとても賛成である。具体的に進んで行くことを期待している。ただ、自分が率先してその担い手になっていけるかは、家族の状況や仕事のことから、なかなか難しいと感じている。		地域活動が継続されていくよう、多様なライフスタイルに合わせて参加できる工夫や、参加しようと思える内容を地域の皆さんとともに考えたいと思います。これからもご意見をお寄せください。
3 第4期計画期間の最終年度に、計画のことを初めて知った。区民意見募集についても締め切り間近まで知る機会がなかった。もっと多くの人に地域福祉保健計画というものがあるということを知ってもらうための工夫が必要だと思う。		誰もが住み慣れた地域で健やかに安心して暮らすことのできるまちづくりのために、地域福祉保健計画や意見募集について、より多くの方に知っていただけるよう、広報手段の見直しや工夫を進めてまいります。

5 感想

意見の内容		ご意見に対する対応
1 素案を読んで、自分のできることから始めたいと思った。		ご感想をお寄せいただき、ありがとうございます。住み慣れた地域で健やかに安心して暮らせるまちづくりを、皆さんとともににしていきたいと思います。